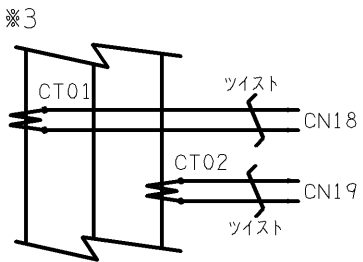


消火ポンプ制御盤EPM2の注意事項

- (1) 共通事項
- 1. 破線―――部分は客先接続範囲となります。但し、※1補助水槽の場合は接続されています。
 - 2. 消火水槽の減水警報を行う場合は、電極棒へ結線時に端子E2-E3間の短絡線を外してください。
 - 3. ※1消火水槽満水・減水警報不用の場合は、未配線で水位警報は出力されません。
※1は特定施設水道連結型の場合、補助水槽満水・減水警報の出力となります。
 - 4. 補助高置水槽の減水警報を行う場合は、電極棒へ接続時に端子E5-E6間の短絡線を外してください。
 - 5. ※2補助高置水槽満水・減水警報不用の場合は、未配線で水位警報は出力されません。
 - 6. ※3：200V級・55kW及び400V級・90,110kWの場合、CT01、02のみ内蔵されています。
 - 7. ※17吐出量センサはデジタル式流量計にのみ使用します。アナログ式流量計には使用しません。
 - 8. 信号線と動力線を同一電線管に、収納しないでください。ノイズにより電子回路が誤動作する恐れがあります。
尚、外部ケーブルの引き込み位置は制御盤の底面です。
 - 9. 進相コンデンサ(SC)は、EPM2- [A~D] DY/Z・EPM2- [A~D] SY/Z型に付きます。
 - 10. 流し込み運転・特定施設水道連結型の場合
 - ※13 呼水槽水位検知用フロートスイッチは附属しておりません。
 - ※14 呼水槽水位警報は出力されません。
 - 11. 水中ポンプの場合
 - ※13 呼水槽水位検知用フロートスイッチは附属しておりません。
 - ※14 呼水槽水位警報は出力されません。
 - ※15 消火水槽減水警報を行う場合は、端子E2-E3間の短絡線を外し、フロートスイッチ(※15A)あるいは、電極棒(※15B)を接続してください。
また、この場合、端子BK2、BK5間に消火水槽満水・減水警報を出力します。水位検知用フロートスイッチは標準附属品です。
 - ※16 モータ配線は客先接続となります。



- (2) EPM2-A型の場合
- 1. 消火栓始動リレーの取付スペースは、盤内にはありませんのでご注意ください。
 - 2. スプリンクラ設備の場合は、※5のように圧力スイッチを端子C1-C2間に接続します。この場合、消火栓始動リレーは不要となります。
 - 3. 制御盤搭載の場合は電動機、呼水槽フロートスイッチ、吐出量センサの配線は接続されています。
また圧力空気槽付の場合は、端子C1-C2間に圧力スイッチも接続されています。
但し、制御盤別置型及び自立型の場合は客先接続範囲となります。
 - 4. 消火栓始動リレー・受信機・発信機・表示灯、2号消火栓始動装置は客先にてご用意ください。
 - 5. 屋内消火栓ポンプの場合は※4のように配線してください。
 - 6. ※4、※5端子C1-C2間、B1-B2間には無電圧接点を接続してください。

- (3) EPM2-B型の場合
- 1. 屋内消火栓設備の場合、ポンプと火災報知設備を連動せず1号消火栓の始動スイッチ
又は、2号消火栓の始動装置により運転する場合は、図1(※6)又は図2(※7)のように接続します。
 - 2. スプリンクラ設備に補助散水栓を設置し、その表示灯に制御盤からAC24Vの電源を供給する場合は図3(※8)のように接続します。
 - 3. 外部に接続する表示灯は30V2Wの場合40個まで接続できます。
 - 4. 制御盤搭載の場合は電動機、呼水槽フロートスイッチ、吐出量センサの配線は接続されています。
また圧力空気槽付の場合は、端子C1-C2間に圧力スイッチも接続されています。
但し、制御盤別置型及び自立型の場合は客先接続範囲となります。
 - 5. ※9端子C1-C2間には無電圧接点を接続してください。

- (4) EPM2-C型の場合
- 1. 制御盤搭載の場合は、消火栓始動リレー用固定板に消火栓始動リレーを取り付けてください。
自立型の場合は、盤内にある消火栓始動リレー用スペースに消火栓始動リレーを取り付けてください。消火栓始動リレーは、客先にて手配してください。
取付けできる消火栓始動リレー型式などは、消火栓始動リレー別表によります。
 - 2. ※10制御盤搭載の場合は、消火栓始動リレーへの配線は附属のケーブルを使用してください。
 - 3. ※11自立型の場合は、消火栓始動リレーへの配線は盤内の中継端子(TBA)に接続してください。
 - 4. 制御盤搭載の場合は電動機、呼水槽フロートスイッチ、吐出量センサの配線は接続されています。
但し、制御盤別置型及び自立型の場合は客先接続範囲となります。
 - 5. ※12端子B1-B2間には無電圧接点を接続してください。また、圧力空気槽付の場合は、端子B1-B2間は圧力スイッチの接続となります。

- (5) EPM2-D型の場合
- 1. 制御盤搭載の場合は、消火栓始動リレー用固定板に消火栓始動リレーが取り付けられています。
また、※10消火ポンプ制御盤と消火栓始動リレー間の配線は接続されています。
ただし、制御盤別置型の場合は客先接続範囲となります。
自立型の場合は、盤内に消火栓始動リレーが内蔵されています。
消火栓始動リレーと受信機及び、表示灯間の接続の詳細は、各消火栓始動リレーメーカーの接続図を参照してください。
 - 2. 制御盤搭載の場合は、電動機、呼水槽フロートスイッチ、吐出量センサの配線は接続されています。
但し、制御盤別置型及び自立型の場合は客先接続範囲となります。
 - 3. ※12端子B1-B2間には無電圧接点を接続してください。また、圧力空気槽付の場合は、端子B1-B2間は圧力スイッチの接続となります。

御注文主 CUSTOMER		機器番号 ITEM NO.			
御使用先 FINAL USER		機器名称 ITEM NAME			
荏原製番 SER.NO.	機名 MODEL	吐出量 CAPACITY	全揚程 TOTAL HEAD	同期速度 SPEED	出力 OUTPUT
				min ⁻¹	数量 QTY